

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さん、学校運営協議会長さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

玉名市地域学校協働本部
事業だより第94号
令和6年12月2日

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

今年も残り1ヶ月となりました。各学校では、学習や活動のまとめが行われていく時期ではないでしょうか。12月は師走といわれるほど、先生方も一番あわただしい時期でもあります。この時期、少しでも地域学校協働活動が貢献できるとありがたいですね。

今回は、玉名中学校区1(滑石小学校、玉名中学校)の様子を紹介します。

滑石小学校

「はなまるタイム」：全学年



本校は、児童一人一人の学力向上を目指し、「はなまるタイム」を設定し、推進員や保護者の協力を得て、丸付け等の協力をしていただいています。

児童は、与えられた問題を解き、丸付けボランティアの方に丸をつけてもらいます。「声をかけてもらい、丸付けてもらい、やる気が出る。頑張れる。」と意欲的に取り組んでいます。

推進員は、丸付けボランティアに自分自身が協力するばかりでなく、地域にも声をかけてもらっています。

担任は、複数の目で児童の指導・支援ができ、とても助かっています。

「プール見守り」 全学年



本校は、職員数が少なく、水泳時の児童の安全を考え、見守りの協力をしていただいています。

担任は児童の指導につくことができ、見守りの方にプールサイドから児童を監視してもらっています。

児童は、「上から見守ってもらっているから水泳に集中できる。」と喜んでいます。

推進員は、「暑い中だが、子どもたちから『ありがとう。』と言ってもらい、元気が出る。」と言っています。

「いも栽培」 1・2年生



本校は、毎年、老人会の方々と1・2年生がいもを通じての交流をしています。6月には、いもの苗植えを、そして、10月には、いもの収穫をしました。少人数の学校なので、このように交流できることは、児童にとっても、また、地域の老人の方々にも、とても楽しい活動になっています。

児童は、「お年寄りの方々から植え方や掘り方を教えてもらい、うれしかったし、たくさんいもがとれてうれしかった。」と言っていた。推進員は、老人会と打合せをし、たくさんの老人会の方が集まるように声をかけ、調整をしてもらいました。

担任は、「職員数が少なく、畑等の管理が難しい中、地域の方々が児童のために、事前からの準備をしてもらい、助かっている。」また、「体験が乏しくなっている児童にとっていも植えやいも掘りといった体験活動ができることは、児童の成長にもつながっている。」と話していました。

裏面あり

玉名中学校

「玉中の森」(蛇ヶ谷公園内) 清掃活動



「清掃プロジェクト」(玉中至心プロジェクト)の活動の一つです。本校では、学校運営協議会の皆様との熟議(玉中総合教育会議)を、年4回実施しています。その熟議において、「玉中の森」の存在や、昔の玉中の活動を知ることになりました。その後、清掃プロジェクトメンバーの立案により、これまで休止していた活動を再開させました。当日は、ひまわりTVや熊本日日新聞社の取材も受けました。生徒立案の企画を、地域の皆様の方により支えていただき、実行することができました。

築山花作り部会との共同(協働)苗植え



今年度からの取組として、築山花作り部会で取り組まれている地域花壇への苗植え活動に、中学生が参加しました。築山小の児童や保護者の皆様とも一緒に活動を行い、マリーゴールドを植えました。前年度から築山花作り部会の皆様には、本校花壇への苗植えにも、ご協力いただいています。地域と学校の双方向型の活動を継続していきたいと思えます。

地域の力を活用(九州看護福祉大学生のボランティア活動)



大学の存在は、地域の大きな力ととらえます。本校では、保健業務の補助として、九州看護福祉大学にボランティアの募集をしています。教職を目指している学生もいます。「ボランティア活動を通じて、現場経験を重ねることにつながる」という学生の視点と、「人数が増えることで業務効率を高めることが可能」という教職員側の視点を融合させて、取組を行っています。

小中合同挨拶運動



玉名町小



築山小



滑石小

今年度も、玉中至心プロジェクトの取組の1つである挨拶運動を、小中合同形式で年間3回を計画しています。学校運営協議会の皆様や、支館長様を通じて地域の方へ呼びかけ(生徒会作成のポスター配付)を行い、取り組んでいます。各小学校で、朝から元気の良い挨拶が飛び交っています。「挨拶の飛び交う玉中校区」を目指して今後も取り組んでいきます。

読み聞かせボランティア



印刷ボランティア

玉名中学校お話会「とわの木」の会員やボランティアの方々を中心に取り組んでいます。今年度も年間9回(各学年3回ずつ)を計画しています。

生徒も、この読み聞かせを心待ちにしており、絵本に没頭できる時間を楽しんでいます。

印刷ボランティアの活動も、長い間実施している活動です。有志を募り、教職員の仕事を支えていただいています。今年は、研究発表会に向けた製本作業や、資料の封筒詰めにも協力していただきました。九州看護福祉大学の学生も協力してくれました。